

第5回 町民大学・メンデル講演会

期 日：平成28年12月3日（土）
時 間：午後1時30分から
場 所：下諏訪総合文化センター 2階 集会室
参加費：一般 100円 （高校生以下入場無料）



メンデルの遺伝子、非メンデルの遺伝子

広島大学大学院理学研究科 草場 信 教授

メンデルが遺伝の法則を発見する際に用いたエンドウの形質のひとつに青豆形質があるが、ダイズでは母性遺伝（非メンデル遺伝）する青豆形質が知られている。

今回は、良く似た形質でありながら全く異なる遺伝様式を持つ両遺伝子の同定と機能について話したい。（講師コメント）

野生メダカの生物学

新潟大学大学院理学研究科 酒泉 満 教授

メダカは日本古来の野生生物ですが、日本で開発された研究用の動物として世界的に活躍しています。

メダカと日本人の来し方、実験動物としての特徴、系統と分類、雄と雌の違いなどについて分かりやすく解説します。（講師コメント）

放射線の染色体に及ぼす影響

独立行政法人 放射線医学総合研究所 研究室長 数藤由美子博士

放射線が生体に当たると、遺伝物質の本体であるDNAに傷を与える作用があり、その影響は染色体の異常としても観察されます。

本講演では、さまざまな染色体異常を紹介し、またそれが被ばく放射線量の推定に利用されていることをお話しします。（講師コメント）